

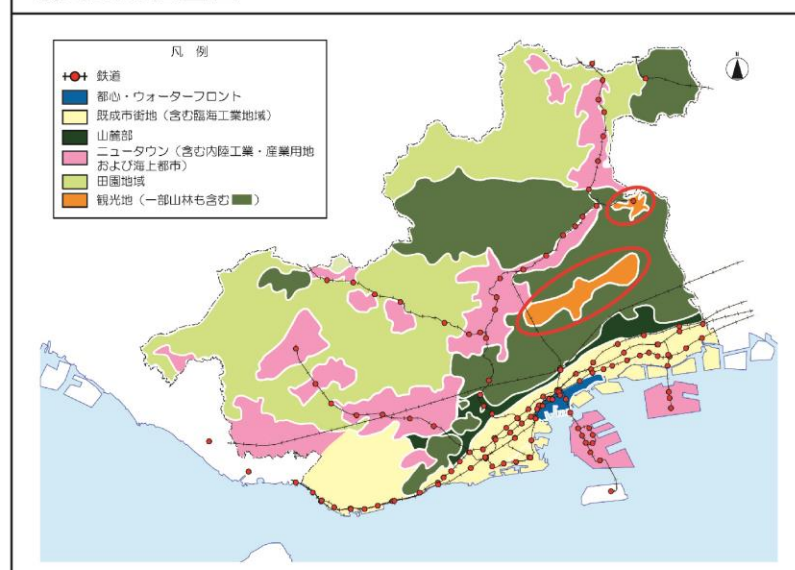
(3) 地域交通（観光地（六甲・摩耶山および有馬））

【概況】

六甲・摩耶山および有馬は、都市近郊にある神戸の魅力的な観光地となっています。六甲・摩耶山は野鳥・昆虫・植物など自然の宝庫として知られ、アウトドアレジャーゾーンとして親しまれています。有馬は、日本三古湯の一つであり、四季折々の自然を楽しむことができ、年間を通じた魅力がある地域です。六甲・摩耶山は六甲山系南側の既成市街地とロープウェイやケーブルカー、路線バスで連絡されるとともに、有馬とはロープウェイで連絡されています。

【現 状】	【課 題】	【取り組みの方向性】	【主な取り組み】
<ul style="list-style-type: none"> 市街地から六甲・摩耶山上へアクセスするには公共交通を複数回乗り換える必要があり、山上を東西に移動するにも、バスを乗り継ぐ必要があります。 各方向からアクセス・回遊できるようにハイキング道や散策道が整備されています。 来訪者の約半分が自動車で訪れており、観光シーズンには施設への入庫待ちで渋滞が発生しているところも見られます。 周遊ルートや交通手段の認知度が十分ではありません 近年の健康志向の高まりなどから、ハイカーが増加しているものと考えられます。 	公共交通によるアクセスや回遊が、自動車と比べて不便な状況にあります。	市街地からほど近い六甲・摩耶山上に形成された観光地へ、公共交通の利便性向上や充実を図ることで、自動車を使わずにアクセスして巡りやすい交通環境の確保を図ります。また、交通情報案内を充実させるとともに、観光地に見合う楽しい交通手段の導入を図ります。	<公共交通の利便性の維持・向上> ○新たな交通手段導入などによる公共交通ネットワークの充実 ○ICカードや企画乗車券などを用いた料金施策の充実 <多様な回遊手段による観光交通の充実> ○楽しい交通手段の導入 <自動車交通のマネジメント> ○駐車場と公共交通等の連携
	ハイキング道や散策道を維持していくためには、人による手入れが必要です。また、近年の登山ブームに対応した歩きやすい環境づくりが必要とされています。	①市街地と六甲・摩耶山上を結ぶ公共交通および六甲・摩耶山上を東西に結ぶ公共交通の利便性向上や充実を図ります。	<歩行環境の向上> ○ハイキング、散策道の維持・充実
	公共交通利用に関して、どのようなルート、時間あるいは、交通手段で乗り継いでいくことができるかといった分かりやすい交通案内が十分ではありません。	②六甲・摩耶山上をさらに楽しく回遊するための交通手段の導入を図ります。 ③ハイカーなどが六甲・摩耶山上を訪れ回遊しやすいように歩行環境の向上を図ります	<交通情報案内の充実> ○鉄道やバスの運行や乗り継ぎに関する情報提供の強化

観光地の位置図



めざす交通体系の概念図

